

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の 成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第8回】 チラシの反応が無い（その2）

前号では、「チラシを見て、なぜすぐに連絡してこないのか」について考察しました。チラシを見て道場に連絡するとき、「めんどくさいからあとにしよう」と、アクションを起こす段階で止ってしまっているからでした。よって、道場に連絡するまでの全ての手順を明示して、お膳立てしてあげてことを考えました。

今号は、「チラシの反応が無い」のはなぜか、もう一つの原因について考えていきましょう。

★空手道場って怖い

チラシを見てすぐ連絡してもらえない、もう一つの理由は、親子でリスクを感じているからです。

- ・無料とか言って、本当はお金をとられるのでは？
- ・怒鳴られたり、怖い先生だったらどうしよう。
- ・体験入門とか言いながら、軟禁状態にして入会手続するまで帰らせてもらえないのでは？

などといったリスクや恐怖心を少なからず感じて

いるからです。英会話教室とかと違って、我々の教室は「空手道場」です。世間の印象は、やはり、怖い、怒られる、痛そう、といったネガティブなイメージはゼロではないでしょう。

「そんなことはありませんよ」と安心できる説明をチラシの中に明示する必要があります。

実践マーケティングの巨匠、ジェイ・エイブラハムも著書『ハイパワー・マーケティング』で、“リスク・リバーサル（不安を取り除くこと）でクライアントの不安を軽減する”有用性を力説しています。

★何をリスクに感じているのか調査する

養正館では、アンケートをとっていることを第3回の連載でお伝えしました。

Q3：養正館を知ってすぐに体験入門しましたか？
体験を迷ったとしたらなぜでしたか？

という質問項目があります。ママさん達が懸念する不安（リスク）を取り除いてあげれば、安心して体験入門の申込の手順に進むことができます。実際に養正館でのアンケート結果をここにあげてみます。多かったのは、以下の5つの「迷い・不安」です。

- ①「たたかうのは怖い」、「痛そう」と子供が迷っていたから
- ②他の習い事との兼ね合い、曜日・時間
- ③家から遠い、送迎の問題
- ④下の子が小さかったので（or 本人が園に慣れてからと思った）
- ⑤空手着が高額ではないのか（3人兄弟のため）



★不安やリスクを取り除いてあげる

アンケートの結果を整理して、チラシに「安心してください、大丈夫ですよ」「そのような心配は一切不要です」のような説明を付け加えてあげればよいのです。体験入門の申込電話のときに説明してもよいですね。実際に以下のように対応しています。

①に対しては、練習は防具を付けて行うこと、昔で言う寸止め空手なので強く当てないこと、スポーツ保険にも入り実際はケガもなく安全なこと、組手以外に形もあること、などを説明しています。

②の場合ですが、養正館では、従来、月・火・水・木・土から2曜日選択して、決まった曜日に来ていただいております。このアンケートで学んでから、曜日は一応決めますが、おうちの都合で休んでも自由に振替ができるように改善しました。

③の対処では、神奈川県相模原市から静岡県沼津市まで、黒帯をとるまで数年間、片道2時間以上かけて週末だけ養正館に通ってくれた親子がいました。当時、体験入門の電話を掛けてきたママさんにその話をすると「その人すごいですね。私も遠いなんて言っていられませんか。ウチは車でたった30分なので頑張って送迎してみます」のように言って、体験入門に来てくださった方が、少なからずいらっしゃいました。

④に関しては、体験入門のお電話をいただいたときに、「下に2歳の子がいるのですが、体験入門初日、連れていってもいいですか？」と心配されたママさんがいらっしゃいました。それ以来、「下に小

さなお子さんがある場合、一緒に連れてきていただいて構いません」とチラシに明記するようにしています。下の子がネックになっているなんて、考えもしませんでした。

⑤ですが、このご意見を伺ってから、入会時、兄弟姉妹全員に新品空手着無料進呈しています。

★体験入門しなきゃ損！

- ・お母さんが考えているリスクは全て道場で負いますのでご安心ください
- ・体験入門終了後、入会しなくても1円もお金はかかりません
- ・入会しなくても、体験入門に来ていただいた方全員に空手DVDプレゼント

など、リスクや不安を感じるどころか、「体験入門に申し込みしないなんて考えられない」「体験入門しないと損をするから急がなきゃ」、とまで思わせることができれば9割成功です。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄（父）に師事。

2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。

空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12



ひと休み Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるオススメ本！（第12回）

■向山洋一著 『授業の腕をあげる法則』

★★★★★

形や組手のチャンピオンセミナーなどに参加したことがあるかと思いますが、内容が難しくて分かりづらかった、なんてことはありませんでしたか？

一流の空手技術を持っている世界チャンピオンだからといって、伝え方も一流だとは限りません。子供たちに届かない言葉を使っていたら、宝の持ち腐れです。どうやったら相手に伝わるのか、徹底的に考えた人がいます。私の指導力は、ほぼすべてこの本から出来上がっています（この本だけは教えなくなかったのですが・・・）。小学校教員の向山先生による、授業の技術を徹底研究した本です。

自分の指導と照らし合わせて、答え合わせしながら読み進めてみてください。「授業の原則10ヶ条」をすべて自然とやっているあなたは超優秀、神レベルのカリスマ指導者です。7個は優秀指導者、

4個は普通の指導者、3個以下の人は私と一緒にこれから勉強していきましょう！

私は、「趣意説明の法則」、「一時一事の法則」、「全員の法則」、「細分化の法則」の4つはこの本に出会う前から、すでにやっていたので、凡人指導者です。あとの6つは忘れないように今でも意識しながら指導しています。現在は、『新版 授業の腕を上げる法則』という名前に変わっています。この本を気に入ったら、『向山洋一の授業の腕をあげる法則 — 学級崩壊に陥らないために リメイク版』で、頭の中を整理しましょう。

向山先生の書籍は無限にあり、当時20冊ほど読み漁りました。皆さんはいろいろな手を出さず、まずは、この2冊を繰り返し熟読してください。